

環境経営レポート

三大宝建設株式会社



2024 年度

(対象期間 2024 年4月1日～ 2025 年3月31日)



®環境省
エコアクション21
認証番号0001584

発行日： 2025年5月10日

目 次

項 目	ページ
目次	1
ごあいさつ	2
経営理念	2
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	7
事業の紹介	8
主な環境負荷の実績	9
環境経営目標及びその実績	9
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画	10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

□ごあいさつ

当社は、持続可能な社会の実現を目指し、環境負荷の低減に取り組んでおります。その一環として、「エコアクション21」を活用し、環境への取り組みをより体系的かつ効果的に推進してまいります。気候変動や資源の枯渇といった環境課題が深刻化する中、私たち企業が果たすべき責任はますます大きくなっています。環境に配慮した事業活動を実践し、従業員一人ひとりが環境意識を高めることで、持続可能な未来に貢献していきたいと考えております。エコアクション21の認証を通じて、具体的な環境目標を設定し、省エネルギーや廃棄物削減などの取り組みを強化してまいります。また、地域社会やお取引先の皆さまと連携し、環境負荷の低減に努めてまいります。今後も、より良い環境のために行動し、社会に貢献できる企業を目指してまいります。皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

経 営 理 念

安定的かつ継続的な経営体質を築きあげる。
法律を遵守し責任ある行動と判断をし信頼される企業体質を確立する。
より良いリサイクル製品を創り出し、和の心を持ち互いに共栄共存を図り地域社会に貢献する。
明るい希望を持ち続け弛まぬ努力し、更なる躍進を目指す。
経営方針 経営理念を実現し、地域社会に貢献するため社会的責任を果たします。
社会環境を見分け団結し邁進して参ります。
法律を遵守し、良識ある行動をとります。

環境経営方針

当社は湖南地域を中心に土木建設業、及び建設廃材の中間処理業を行っています。京阪神の水瓶と言われる琵琶湖と環境県滋賀県を活動拠点としている当社においては環境経営を優先課題と位置づけております。全社員と協力しエコアクション21経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます

環境経営への行動指針

- 1． 環境関連法規制を遵守します。
- 2． 環境目標を定め定期的に見直しを行い継続的に改善を実施いたします。
- 3． 環境影響への負担を軽減するために次の活動をいたします。
- 4． エコアクション21の観点からSDG s の取組にチャレンジします。
- 5． 太陽光発電により、クリーンな再生可能エネルギーの発電事業を推進します。
 - ・ 地球温暖化防止のための省エネ活動を推進し、二酸化炭素排出の削減に取り組めます。
 - ・ 事業活動による廃棄物は徹底した分別とリサイクル化を積極的に行い、廃棄物の削減に取り組めます。
 - ・ 産業廃棄物処理業において、受託した産業廃棄物の再資源化の推進に取り組めます。
 - ・ 事業所では節水に努め、水使用量の削減に取り組めます。また建設現場からの排水する水の汚染・汚濁防止に取り組めます。
 - ・ 建設業においては排水、騒音粉塵のクレーム防止に徹し循環型社会の構築に配慮した環境配慮施工に取り組めます。
 - ・ 環境活動として、地域清掃活動（淡海エコフォスタ）に参加して社会貢献を推進します。

この環境経営方針は全従業員へ教育を行い日常活動を通じて周知徹底を図ります。

制定日： 2006年10月1日

改訂日： 2017年 4月3日

改訂日： 2020年 4月1日

代表取締役社長 安藤 嘉一郎

組 織 の 概 要

- (1) 名称及び代表者名
 三大宝建設株式会社
 代表取締役社長 安藤 嘉一郎
- (2) 所在地
 本 社 滋賀県栗東市御園452番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 代表取締役社長 安藤嘉一郎 TEL : 077-558-2438
 担当者 営業部 堤 右京 TEL : 077-558-2438
- (4) 事業内容
 '建設業（土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、建築工事業）、産業廃棄物中間処理業、産業廃棄物収集運搬業、建材・再生建材販売

- (5) 事業の規模
 売上高（2024年度） 747 百万円 （建設業） 437 百万円 （処分業） 310 百万円
 従業員 25 名 （2024年4月1日現在）
 法人設立年月 昭和45年1月
 資本金 5,000 万円
 敷地面積

	事務所床面積	リサイクル工場面積	倉庫面積	計量場面積	敷地総面積(事業場)
延べ床面積	287 m ²	600 m ²	66 m ²	60 m ²	48,591 m ²

受託した産業廃棄物の処理量(2024年度)

収集運搬量	574,069 t		
中間処理量	574,069 t	うち再資源化量	574,052 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	574,069 t	うち再資源化量	574,052 t

登録運搬車両の種類と台数（2022年4月1日現在）

車種	台数	備 考
2 t ダンプカー	1 台	
10 t ダンプカー	17 台	
合計	18 台	

処理施設の種類：中間処理（破碎）

名称	台数	備 考
破碎施設	1 基	処理能力（規模）：800 t/日

積み替え保管施設 なし

- (6) 事業年度 4 月 1 日 ～ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 三大宝建設株式会社
 対象事業所： 本社・リサイクル工場
 活動：

建設業（土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、建築工事業）、産業廃棄物中間処理業、産業廃棄物収集運搬業、建材・再生建材販売

□許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

廃棄物の種類																			
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
滋賀県	第02500011478	平成5年12月1日	令和10年11月30日	無	○								○						
京都府	第02600011478	令和3年11月12日	令和8年11月11日	無			○	○	○	○	○	○	○						

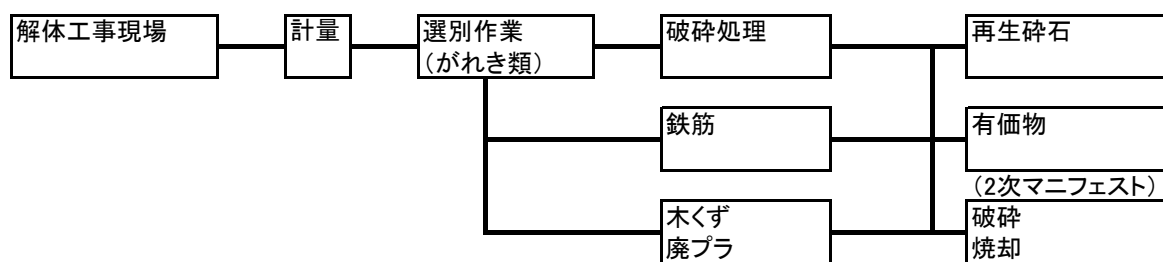
産業廃棄物処分許可の内容(優良産業廃棄物処理業者認定)

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類									
					廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	金属くず			
滋賀県	第02520011478			中間処理										
		平成6年2月3日	令和12年2月2日	破碎						○				

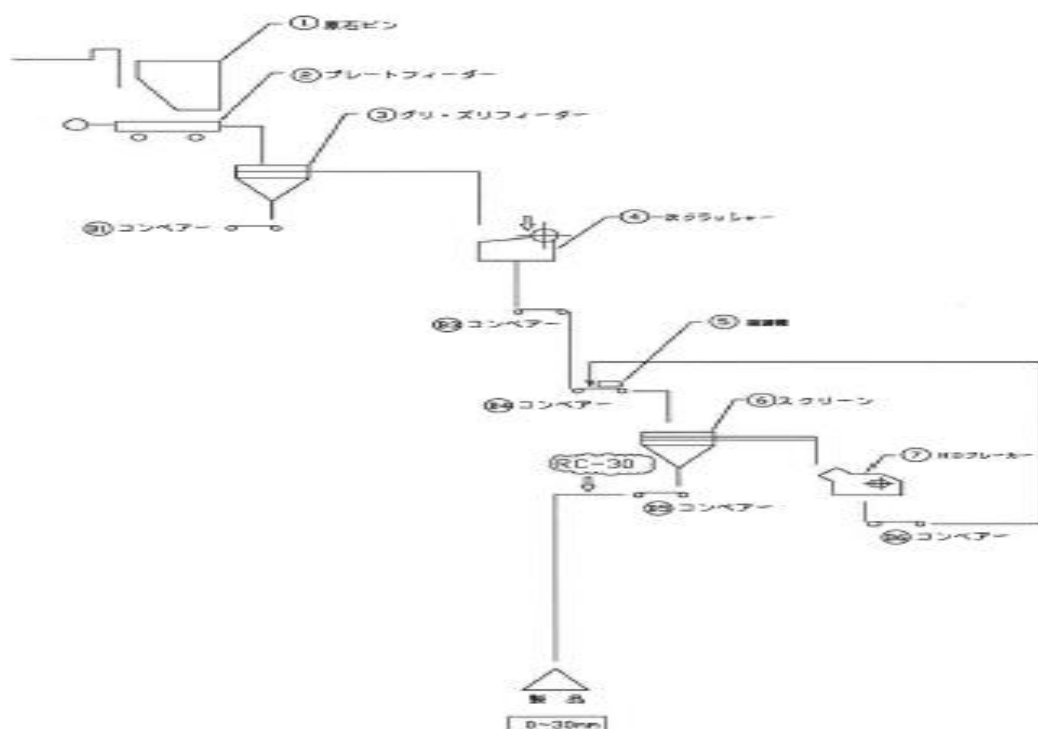
廃棄物処理料金:処理料金一覧表(運賃は含まない)

コンクリート殻:	見積りによる
アスファルト殻:	見積りによる
コンクリート殻(有筋):	見積りによる
廃日本瓦:	見積りによる

□廃棄物処理フロー プラント部(リサイクル工場)

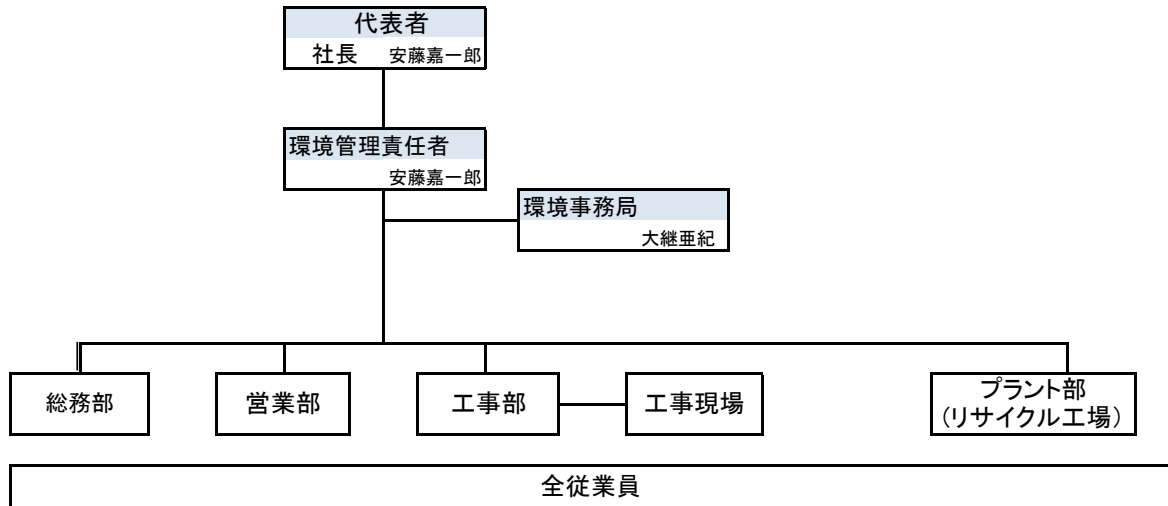


＜再生碎石＞



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年4月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
各部門長	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

土木事業

道路建設、上下水道整備、河川改修、造成工事など、様々な土木工事を行っております。



舗装工事

道路新設や道路維持の修繕、外構や住宅地の造成などの舗装工事を行っております。
・アスファルト舗装工事 ・コンクリート舗装工事



橋梁修繕工事

古くなった橋の補修や修繕工事を行っております。



産業廃棄物収集運搬・処分 (リサイクル)

産業廃棄物の収集運搬・処分（ガレキ類中間処理）、コンクリートガラ（コンガラ）、アスファルトガラ（アスガラ）、廃瓦（日本瓦のみ）、電子マニフェスト（JWNET）も利用していただけます。



各種碎石生産

各種碎石を生産しております。
マサ砂（5mmアンダー・15mmアンダー）砕
砂各種単粒度碎石



太陽光発電

300kwの太陽光発電を行っております



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	561,929	470,782	538,621
Scope1（化石燃料）	kg-CO ₂	473,057	389,690	450,794
Scope2（電力）	kg-CO ₂	88,872	81,092	87,827
受託収集運搬量	トン	100,215	91,625	574,069
受託中間処理量	トン	100,215	91,625	574,069
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	560	560	540
産業廃棄物排出量	トン	698	4,242	6
水使用量	m ³	0	102	168

※二酸化炭素排出係数

事務所電力は、リコー(株)の2021年度調整後排出係数の0.478kg-CO₂/kWh、プラント電力は、大和ハウス工業の2021年度調整後排出係数の0.448kg-CO₂/kWhを使用している。(3年間)

環境経営目標及びその実績

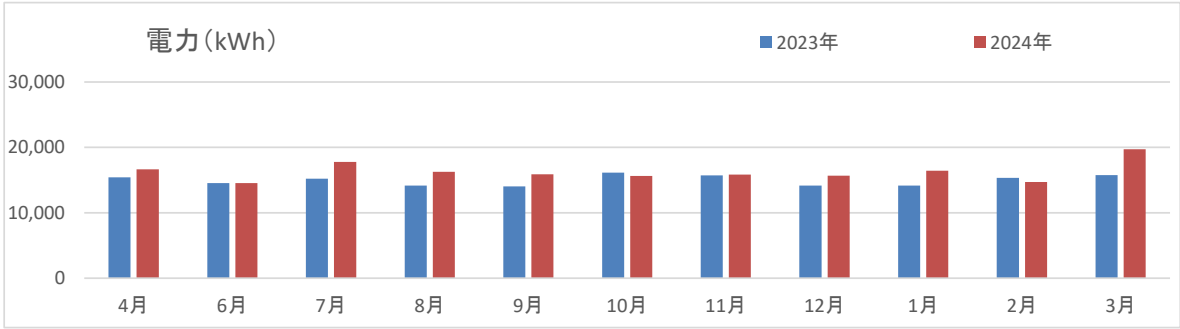
項 目		年 度		2023年度 (基準年)		2024年度 (取組年)		評 価	2025年度	2026年度
				(基準値)	(目標)	(実績)			(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂			81,092	80,281	87,827	×		79,470	78,659
	事務所 (kWh)			19,566	19,370	22,226	×			
	プラント (kWh)			160,133	158,532	172,327	×		156,930	155,329
	基準年度比			100%	99%	108%	×		98%	97%
	売上高原単位 kg-CO ₂ /百万円			152	151	118	○		149	148
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂			389,690	385,793	450,794	×		381,896	377,999
	ガソリン (ℓ)			2,483	2,458	4,028	×		2,433	2,408
	軽油 (ℓ)			148,810	20,460	171,104	×		145,834	144,346
	基準年度比			100%	99%	116%	×		98%	97%
	売上高原単位 kg-CO ₂ /百万円			733	725	603	○		718	711
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂			470,782	466,074	538,621	×		461,367	456,659
	基準年度比			100%	99%	114%	×		98%	97%
二酸化炭素排出量売上 百万円当り原単位	kg-CO ₂ /百万円			885	876	721	○		867	858
	基準年度比			100%	99%	81%	○		98%	97%
建設副産物の再資源化率の向上	%			100%	90%	100%	○		90%	90%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%			100%	80%	100%	○		80%	80%
水使用量の削減	m ³			102	101	168	×		100	99
	基準年度比			100%	99%	165%	×		98%	97%
環境に配慮した工事の推進	行動目標（次項による）									

※二酸化炭素の排出係数については事務所電力はリコー(株)の2021年度調整後排出係数の0.478kgCO₂/kWh、プラント電力は大和ハウス工業の2021年度調整後排出係数の0.448kg-CO₂/kWhを使用している。

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

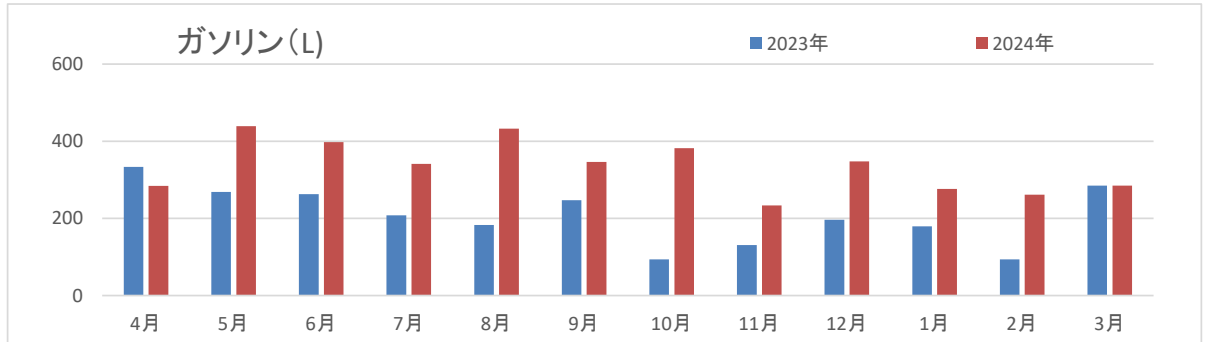
数値目標:○達成 ×未達成
活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	電力使用量は絶対値では基準年比8%増となったが、売上高比では22%の削減となった。今後も事務所の節電及びプラントの省エネ運転を継続する。
原単位目標	○	
・不要時の消灯する	○	
・不要時機械設備・OA機器などのスイッチオフ	○	
・エアコンの温度管理する	○	
(標準:冷房28℃ 暖房20℃)		

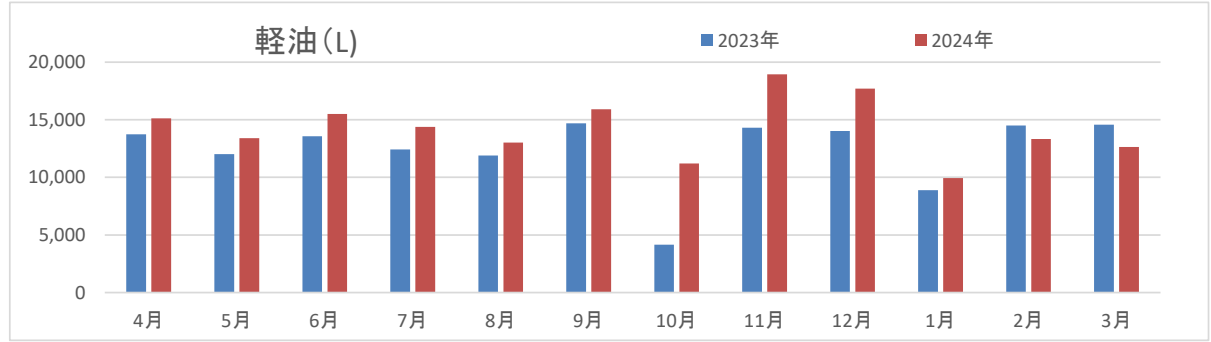


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	15,440	14,670	14,545	15,202	14,151	14,028	16,137	15,708	14,163	14,163	15,359	15,749
2024年	16,663	15,404	14,555	17,765	16,278	15,882	15,642	15,864	15,673	16,427	14,693	19,707

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	プラントの稼働が増えて燃料使用量は基準年比18%増加したが、売上高原単位では18%削減となった。今後も、プラント破碎機の省エネ運転及びプラント内重機、建設現場重機、運送ダンプなどのエコドライブの徹底を行っていく。
・暖機運転・アイドリングストップ・エ	○	
・不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確	○	
・環境に配慮した稼働をする	○	

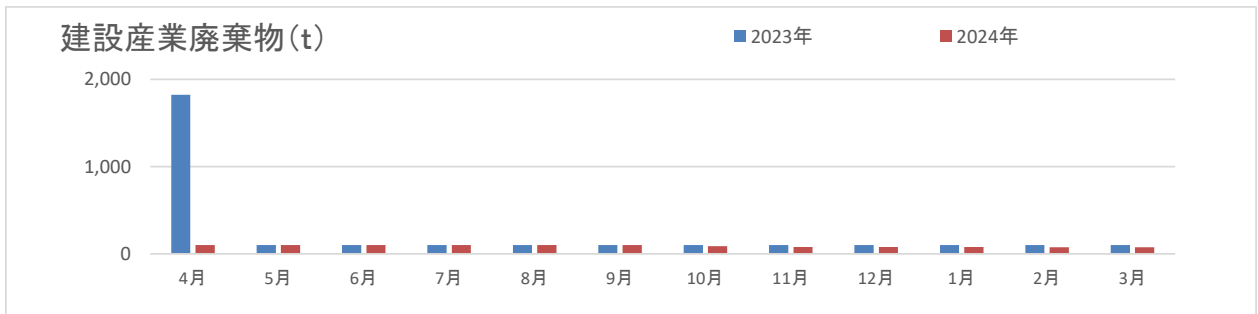


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	334	269	263	208	183	247	94	131	196	179	94	285
2024年	284	439	398	341	433	346	382	234	348	276	262	285



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	13,746	12,018	13,575	12,418	11,907	14,705	4,148	14,322	14,018	8,883	14,505	14,565
2024年	15,135	13,393	15,511	14,380	13,010	15,915	11,200	18,940	17,710	9,940	13,320	12,650

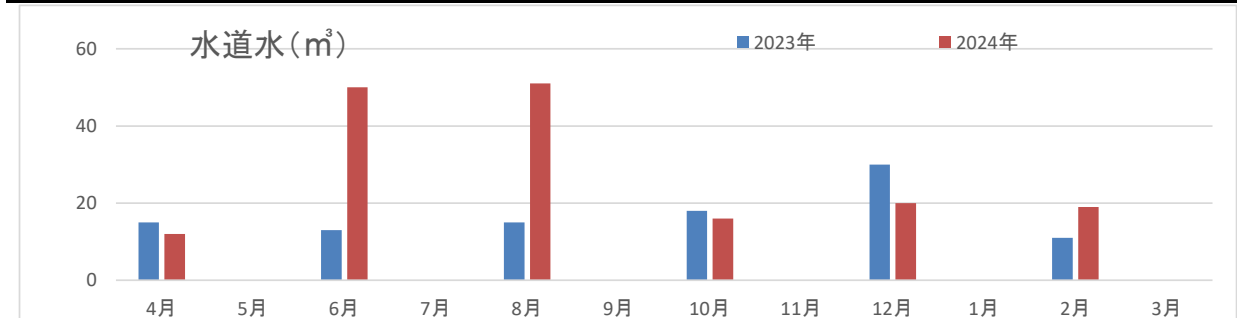
建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	リサイクル率は100%と達成できた。
・廃棄物を分別し、リユース・リサイクル	○	
・無駄な資機材を購入しない。	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	1,825	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
2024年	100	100	100	100	100	100	90	80	80	80	75	75

受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	リサイクル率は100%と達成できた。
・排出先の分別徹底の依頼	○	
・選別の徹底	○	

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	水漏れの発見及び補修により、無駄な水道使用量をストップできた。今後も節水継続して行く。
・洗車の水使用量を減らす。	○	
・水を流しながらの洗い物はしない。	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	15	0	13	0	15	0	18	0	30	0	11	0
2024年	12	0	50	0	51	0	16	0	20	0	19	0

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・建設現場からの排水する水の汚染・汚	○	全工事で実施した。今後も継続する。
・騒音粉塵のクレーム防止	○	
・低騒音・低振動型建機の使用	○	
・	0	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限、車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁防止法	油類・有害物質の保管・事故時の処置
浄化槽法	浄化槽
大気汚染防止法	解体工事におけるアスベスト調査、除去
下水道法	除害施設
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫、テレビ（モニター）、洗濯機、パソコン
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の点検、解体工事時の通帳期の設置確認・説明
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

過去1年間、外部からの環境上の苦情・要請はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役 安藤 嘉一郎

実施日：2025/5/8

本年度、電使用量及び燃料使用量が基準年比＋8%、＋16%となり、二酸化炭素排出量も＋14%増となったが、不要時の消灯や不要時機械設備・OA機器などのスイッチオフや廃棄物収集車両や建設機械のエコドライブ等で売上高原単位では二酸化炭素の排出量で19%の削減となった。水の使用量については、8月まで水漏れが分からなかったがエコアクションのデータ収集のおかげで発見する事ができた。今後もこのままエコアクションシステムを継続してください。

<指示事項>

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり